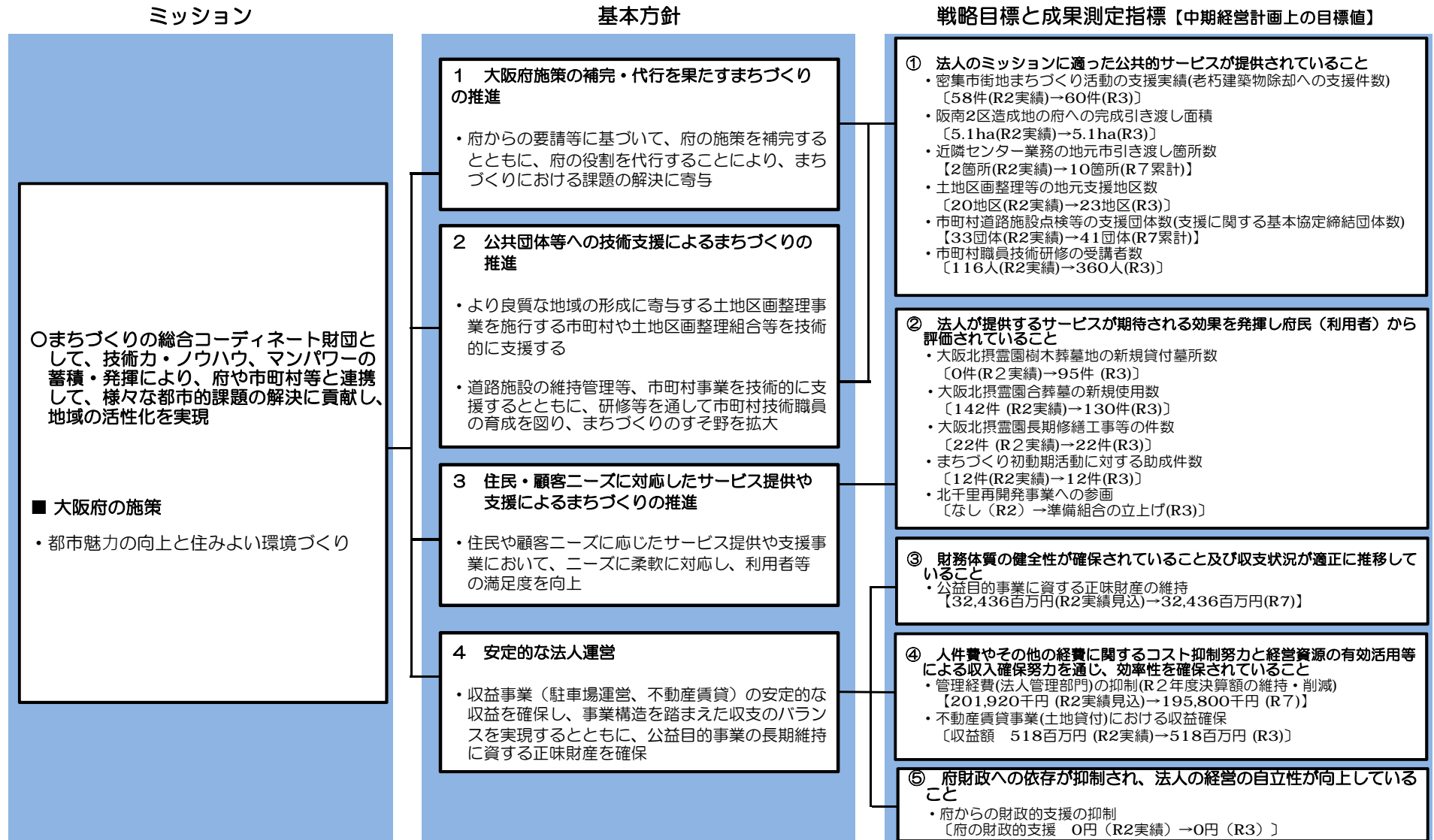


法人名	(公財) 大阪府都市整備推進センター
作成(所管課)	都市整備部都市計画室計画推進課

○ 経営目標設定の考え方



○ 令和2年度の経営目標達成状況及び令和3年度目標設定表

I. 最重点目標(成果測定指標)												
戦略目標	成果測定指標	新規	単位	ウエイト (R2)	R1実績値	R2		R3目標値	ウエイト (R3)	中期経営計画 (R3~R7)		R3目標設定の考え方 (数値の根拠) ※累積数値による目標設定の場合は、その理由も記載
						目標値	実績値 [見込値]			R3目標値	最終年度目標値	
① まちづくり支援の展開	密集市街地まちづくり活動の支援実績 (建替相談と建替検討の合計件数)		件	30	62	60	60	—	—	—	—	—
法人経営者の考え方(取組姿勢・決意)											具体的活動事項	
最重点とする理由、経営上の位置付け												
最重点目標達成のための組織の課題、改善点												
活動方針												

II. 設立目的と事業内容の適合性(事業効果、業績、CS)

戦略目標	成果測定指標	新規	単位	ウェイト (R2)	R1実績値	R2		R3目標値	ウェイト (R3)	中期経営計画 (R3~R7)		R3目標設定の考え方 (数値の根拠) ※累積数値による目標設定の場合は、 その理由も記載	戦略目標達成のための活動事項
						目標値	実績値 [見込値]			R3目標値	最終年度 目標値		
① まちづくり支援の展開	土地区画整理事業実施地区の準備組合新規立上げ数		地区	10	2	1	1	—	—	—	—	—	—
	まちづくり初期期活動における助成金の交付件数		件	5	12	12	12	—	—	—	—	—	—
② 点検業務の一括発注による橋梁点検の確実な実施	点検橋梁数		橋	10	338	300	401	—	—	—	—	—	—
③ 建設発生土のリサイクルによる埋立造成の実施	建設発生土の搬入実績		万t	10	38	35	48	—	—	—	—	—	—
④ 北摂霊園事業の経営健全化	大阪北摂霊園墓所の新規貸付数		区画	10	30	50	×38	—	—	—	—	—	—
	大阪北摂霊園管理料未収入金		百万円	5	26	26	25	—	—	—	—	—	—
	未納者への訪問督促件数		件	5	84	100	×61	—	—	—	—	—	—
⑤ 近隣センターの引継ぎ	近隣センター引継ぎ箇所数		箇所	5	6	4	×2	—	—	—	—	—	—

III. 健全性・採算性(財務)、コスト抑制と経営資源の有効活用・自立性の向上(効率性)

⑥ 収益事業の経常利益の確保	駐車場運営事業の経常利益率 (経常利益/経常収益)		%	10	18.2	12.4	×9.5	—	—	—	—	—	—
----------------	------------------------------	--	---	----	------	------	------	---	---	---	---	---	---

【凡例】

- ・☆はH31年度からの新規項目
- ・×は目標値未達成
- ・↓は前年度実績比マイナスの目標値
- ・〔 〕内の数値は、参考として記入した実績見込値
- ・()内の数値は、当該年度の経営目標として設定していないため、参考として記入した実績値
- ・<<内の数値は、旧(一財)大阪府タウン管理財団における目標値及び実績値

○ 令和2年度の経営目標達成状況及び令和3年度経営目標設定表

I. 最重要目標(成果測定指標)												
戦略目標	成果測定指標	新規	単位	ウエイト (R2)	R1実績値	R2		R3目標値	ウエイト (R3)	中期経営計画 (R3~R7)		R3目標設定の考え方 (数値の根拠) ※累積数値による目標設定の場合は、その理由も記載
						目標値	実績値 [見込値]			R3目標値	最終年度目標値	
① 法人のミッションに適った公共的サービスが提供されていること	密集市街地まちづくり活動の支援実績 (老朽建築物除却への支援件数)	☆	件	—	(57)	—	(58)	60	30	—	—	大阪府密集市街地整備方針(R3.3改定)に基づく各市の整備アクションプログラムの老朽建築物除却の計画事業量(R3~7年度まで計984棟)を達成するため、これまでのセンターの貢献状況を踏まえ必要となる相談や助成の支援件数を設定。R3目標件数は年割り平均とし、以降進捗状況に応じて調整。
法人経営者の考え方(取組姿勢・決意)											戦略目標達成のための活動事項	
最重要とする理由、経営上の位置付け	<p>○ 大阪府及び地元市では、大規模地震発生時の切迫性が高まる中、緊急の課題である「地震時等に著しく危険な密集市街地」(以下、危険密集。H24設定時2,248ha)の令和2年度までの解消をめざし、「大阪府密集市街地整備方針」(H26.3策定)に基づき、老朽建築物の除却や道路・公園の整備等に取り組んできた。都整センターは、府市の取組みを文化住宅等建替えの相談・検討、またH30年度からの拡充取組みとして住宅所有者等への助成や市への職員派遣などにより支援してきた。こうした取組みにより、半数以上の危険密集が解消されたもののR2年度末時点でまだ1,014haが残存。</p> <p>○ こうした状況を受け、府は早急な危険密集の解消に向け令和3年3月に整備方針を改定。新たに「R7年度末までに危険密集(H24設定時2,248ha)の9割以上を解消」「R12年度末までに全域を解消」を目標に、引き続き府市で「災害に強いまちづくり」と「活力と魅力あふれるまちづくり」に取り組んでいくこととした。</p> <p>○ 都整センターでは、府市の取組みを強力に支援するため、令和7年度まで拡充取組みを継続することし、危険密集の解消のため取組みの柱である「まちの防災性の向上」に貢献する「密集市街地まちづくり活動の支援実績」を引き続き最重要目標とし、市の老朽建築物除却の計画事業量の達成を支えるセンターの相談、助成等の支援件数を指標とする。</p>											
最重要目標達成のための組織の課題、改善点	<p>○ 文化住宅等の老朽化が進むにも関わらず、所有者は、自身の高齢化、十分な資金がないことや建替え後の収益性が悪いことなどから現状のままでやむを得ないと、防災性の向上に資する新たな土地活用を検討していない場合がある。こうしたことが老朽建築物の除却、建替え等の大きな支障になっている。こうした所有者へは、老朽建築物の災害時の危険性や、期間限定で活用できる各種支援制度により負担が軽減されることをしっかり情報提供し真摯に検討してもらえる働きかけをきめ細かく行うことができる体制を整えることが重要。</p> <p>○ そのため、府市との連携とともに市に派遣する職員などのマンパワーも活用しつつ、市の補助やセンター支援制度を紹介するダイレクトメール送付や、所有者の戸別訪問、所有者の訪問しやすい出前相談会などきめ細かい働きかけを重ね、除却に向けた相談、助成を掘り起こし、所有者の除却への動きにつなげていく。</p>											
活動方針	<p>○ 支援件数の目標達成には、老朽建築物所有者からの問合せを「待ち受け」にとどまらず、地域に出向き所有者への積極的かつのきめ細かな「攻め」の働きかけが重要。</p> <p>○ センター本部職員(3名)、市への派遣職員(6名)を中心に、地元市や府土木事務所とも連携し、文化住宅等の老朽建築物の所有者への戸別訪問等きめ細かい対応により除却等を働きかける。</p>											

<老朽建築物除却への支援件数の増加に向けた取組み>

- ダイレクトメール送付
文化住宅等所有者へ市やセンターの除却支援制度の周知のためのダイレクトメール送付。問い合わせいただいた所有者に除却等を働きかけ
*年3回実施(6月、10月、2月)、1回あたり約1,500者に送付
- きめ細かな戸別訪問
センター本部職員と市への派遣職員が中心となって、文化住宅等所有者を戸別に訪問し、市やセンターの助成制度などを紹介し除却等を働きかける。建築物の老朽度や延焼危険性の低減効果等を考慮して、緊急性の高い物件を対象を絞り込み重点的に働きかけを行う。
- 地域に近い出前相談会
文化住宅等所有者に来てもらいやすくするため、地元市と連携して密集市街地に近い場所で相談会を実施。
*大規模な密集市街地を対象に計6回程度を実施

<効果的な支援の実施>

- ・文化住宅等所有者が建替えを検討する場合には、センター賛助会員のハウスメーカー等と連携し建替え案の作成など所有者の検討を支援。

※コロナ禍の長期化により、戸別訪問や出前相談会を縮小せざるを得ない状況が生じた場合は、取り組み内容の組み換えを行う場合がある。

II. 設立目的と事業内容の適合性(事業効果、業績、CS)

戦略目標	成果測定指標	新規	単位	ウエイト (R2)	R1実績値	R2		R3目標値	ウエイト (R3)	中期経営計画 (R3~R7)		R3目標設定の考え方 (数値の根拠) ※累積数値による目標設定 の場合は、その理由も記載	戦略目標達成のための活動事項
						目標値	実績値 [見込値]			R3目標値	最終年度 目標値		
① 法人のミッションに合った公共的サービスが提供されていること	阪南2区造成地の府への完成引き渡し面積	☆	ha	—	(0.0)	—	(5.1)	5.1	5	—	—	埋立免許において大阪府がR3年度を竣功期限としている面積	大阪港湾局と協議しながら埋立造成を進め、造成工事が完了した用地を計画的に引渡す。
	近隣センター業務の地元市引き渡し箇所数		箇所	5	6	4	× 2	2	5	2	10 (累計)	堺市との引継に関する覚書において設定された件数	地元・堺市による覚書の確実な履行をフォローする。
	土地区画整理等の地元支援地区数	☆	地区	—	(20)	—	(20)	23	5	—	—	昨年度実績以上の地区を支援することを前提に、現在、土地区画整理事業が行われている地区と事業化の可能性のある地区の内、センターへの支援要請が見込まれる23地区を目標に設定	大阪府や市町村とのまちづくりに係る会議等を活用して情報を収集し、まちづくりの機運が高まっている地区については、地元組織に対し、市町村とともにまちづくりに係る専門的な助言や説明を行うことで信頼関係を構築し、事業化に向けた検討業務などの業務受託に繋げるよう努める。
	市町村道路施設点検等の支援団体数 (支援に関する基本協定締結団体数)	☆	団体	—	(30) (累計)	—	(33) (累計)	35 (累計)	5	35 (累計)	41 (累計)	計画期間内に政令市を除く全ての市町村(41団体)との協定締結に向け、毎年確実に数を増やすため2団体の増加(累計35団体)を目標に設定	国が主催する道路メンテナンス会議や府が主催する維持管理プラットフォーム会議に、引き続き出席し道路施設に係る維持管理の助言や、これまでの市町村の受託業務の品質の高さを協定を締結していない市アピールし、締結を促す。 とりわけ、協定締結に興味を持っている市については、直接出向き、協定締結のメリットを様々なデータ等を活用して丁寧に説明する。
	市町村職員技術研修の受講者数	☆	人	—	(358)	—	(116)	360	5	—	—	1年間で8回開催する研修において、その募集定員の合計を目標数値に設定	市町村職員のニーズにあった研修になるよう、研修後に毎回アンケートを実施し講義内容に反映する。 また、出席する職員の負担を軽減するため年度初めや年度末を避けるとともに、開催頻度も考慮し研修を実施する。 コロナ禍により、会場が人数制限や使用中止となった場合には、Web配信による研修を実施し受講者の確保に努める。

戦略目標	成果測定指標	新規	単位	ウエイト (R2)	R1実績値	R2		R3目標値	ウエイト (R3)	中期経営計画 (R3~R7)		R3目標設定の考え方 (数値の根拠) ※累積数値による目標設定 の場合は、その理由も記載	戦略目標達成のための活動事項
						目標値 実績値 〔見込値〕				R3目標値	最終年度 目標値		
② 法人が提供するサービスが期待される効果を発揮し府民(利用者)から評価されていること	大阪北摂霊園の運営												
	樹木葬墓地の新規貸付墓所数	☆	件	—	— (R3から貸付開始)	— (R3から貸付開始)		95	5	—	—	従来の永代使用型墓所、使用期間限定墓所の販売目標数を参考にして目標を設定	多様化する墓地ニーズに対応した魅力ある墓園として積極的な販売活動を行う。墓地見学会の実施、パブリシティの活用、広告宣伝の強化等を実施し樹木葬墓地の販売を推進し新規貸付墓所数の増加を目指す。
	合葬式墓地の新規使用数	☆	件	—	(265)	— (142)		↓ 130	5	—	—	令和3年度については、樹木葬墓地「天の川」の販売開始による影響を勘案して年間130件を設定	承継者不在等による墓離れに対応する墓地として、その特徴(承継不要・遺骨永代管理)を活かした販売活動を行う。
	長期修繕工事等の件数	☆	件	—	— (計画に基づく工事等はR2から開始)	— (22)		22	5	—	—	計画に位置付けられた予定工事箇所及び設計等委託の数の合計数	災害及び事故等突発的な事象が発生した際に迅速な対応を行うなど、計画修繕の執行に出来るだけ影響を及ぼさないよう処理を進める。
	まちづくり初期期活動に対する助成件数		件	10	12	12		12	5	—	—	まちづくり初期期の活動を支援するため50万円上限に助成。予算を踏まえ、助成メニューごとの応募割合等の実績を考慮し助成可能な件数を設定	センターのホームページ、機関誌やニュースターによる広報とともに、地域のまちづくり活動に詳しい市町村や府土木事務所に関係する団体への本制度の周知の協力をお願いし助成応募の掘り起こしを図る。
	北千里再開発への参画	☆	—	—	—	—		準備組合の立上げ	5	—	—	収益確保等の資産の最大有効活用化に向け準備組合立上げ(数値目標の設定は不能)	R3年度準備組合立上げに向け関係機関との協議を進める。

Ⅲ. 健全性・採算性(財務)、コスト抑制と経営資源の有効活用・自立性の向上(効率性)

戦略目標	成果測定指標	新規	単位	ウエイト (R2)	R1実績値	R2		R3目標値	ウエイト (R3)	中期経営計画 (R3~R7)		R3目標設定の考え方 (数値の根拠) ※累積数値による目標設定 の場合は、その理由も記載	戦略目標達成のための活動事項
						目標値 実績値 〔見込値〕				R3目標値	最終年度 目標値		
③ 財務体質の健全性が確保されていること及び収支状況が適正に推移していること	公益目的事業に資する正味財産の維持 (R2年度決算額の維持)	☆	百万円	—	— (R2法人統合のためR1数値なし)	— (〔32,436〕)		32,436	5	32,436	32,436	公益目的事業を長期安定的に実施するために必要な正味財産額(※)の維持を図るため、概ねR2年度水準を維持すべく設定 ※時限的事業である「密集市街地まちづくり活動支援事業費(拡充取組み分)」、「減価償却費」のうち、将来的に資産の切り離しに係るもの(環境共生型まちづくり事業、近隣センター事業等)の影響を除外して算出	収益事業における収益の安定的確保・拡大と公益目的事業及びその他事業における赤字額の縮減に努める。
④ 人件費やその他の経費に関するコスト抑制努力と経営資源の有効活用等による収入確保努力を通じ、効率性を確保されていること	管理経費(法人管理部門)の抑制 (R2年度決算額の維持・削減)	☆	千円	—	— (R2法人統合のためR1数値なし)	— (〔201,920〕)		↓ 202,800	5	202,800	195,800	法人運営の効率性を確保するため、R3年度水準を上限に一定の削減を図るべく設定	法人管理部門の経費の削減に努める。
	不動産賃貸事業(土地貸付)における収益確保	☆	百万円	—	(518)	(518)		518	5	—	—	現在の賃貸借契約における契約額	契約の確実な履行に向けたフォローを行う。
⑤ 府財政への依存が抑制され、法人の経営の自立性が向上していること	府からの財政支援額	☆	千円	0	0	0		0	5	—	—	府からの財政支援なしとしたもの	府からの財政的支援を求めず、自立的な法人運営を進める。

【凡例】

- ・☆はR3年度からの新規項目
- ・×は目標値未達成
- ・↓は前年度実績比マイナスの目標値
- ・〔 〕内の数値は、参考として記入した実績見込値
- ・()内の数値は、当該年度の経営目標として設定していないため、参考として記入した実績値

■ 目標値未達成の要因について

〔1〕

R2年度の 成果測定指標	単位	R2年度の 目標値	R2年度の 実績値〔見込値〕
大阪北摂霊園墓所の新規貸付数	区画	50	38

未達成の 要因と分析	<p>・北摂地域をメインとした鉄道車両広告、新聞・自治体広報誌の広告など霊園の周知を行うと共に多様な墓地ニーズに対応するため、「永代使用型墓所」の販売と新たに使用期間を定めた「使用期間限定墓所（小さなお墓）」の販売を実施した。</p> <p>しかし、樹木葬墓地の整備にかかる準備の影響もあって、「使用期間限定墓所（小さなお墓）」のPR等販売促進活動が不十分となり、顧客層への浸透を図り切れなかったため。</p>
---------------	---

今後の 改善方策	<p>・令和3年度については、新規墓所として整備する「樹木葬墓地」に合わせ、「使用期間限定墓所」の販売促進に向けたPR等販促活動を積極的に展開し、貸付者数の増加を目指す。</p>
-------------	---

〔2〕

R2年度の 成果測定指標	単位	R2年度の 目標値	R2年度の 実績値〔見込値〕
大阪北摂霊園管理料未納者への訪問督促件数	件	100	61

未達成の 要因と分析	<p>・将来の長期滞納者の増加を防ぐため、訪問督促を実施したが、コロナ禍の影響により対面での訪問督促を控えざるを得なかった。</p>
---------------	--

今後の 改善方策	<p>・令和3年度もコロナ禍の終息時期が見通せない状況のため、対面による訪問督促に代えて、電話による督促を強化する。</p>
-------------	--

■ 目標値未達成の要因について

〔3〕

R2年度の 成果測定指標	単位	R2年度の 目標値	R2年度の 実績値〔見込値〕
近隣センター引継箇所数	箇所	4	2

未達成の 要因と分析	<p>・近隣センター内の既存スーパー閉店に伴い、地元から再整備の可能性検討のための引継延期要望 及び堺市への活性化案提示要望があり1年延期したものを。</p>
---------------	---

今後の 改善方策	<p>・泉北地区の残る近隣センターの引継に関して、堺市との間で締結した覚書で確認をしていることから、確実な履行をフォローしていく。</p>
-------------	---

〔4〕

R2年度の 成果測定指標	単位	R2年度の 目標値	R2年度の 実績値〔見込値〕
駐車場運営事業の経常 利益率	%	12.4	9.5

未達成の 要因と分析	<p>・新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発出され、外出抑制の影響から、中之島駐車場外11ヵ所全ての時間制駐車場の利用が減少した。</p> <p>・令和2年度大阪府の公募に伴い、一部月極駐車場の占用廃止（閉鎖）が生じたことより収入が減少した。</p>
---------------	--

今後の 改善方策	<p>・大阪府や市町村が実施する駐車場の公募に積極的に参加し、新規駐車場の開設や駐車場の継続を図り、収益の確保に努める。</p> <p>・有人駐車場の無人管理への変更など、経費削減に努める。</p>
-------------	---

法人名

(公財) 大阪府都市整備推進センター

■ 成果測定指標変更（廃止）希望の理由について

〔1〕

●変更前

R2年度の 成果測定指標	単位	R2年度の 目標値
密集市街地まちづくり活動の支援実績（建替相談と建替検討の合計件数）	件	60

●変更後

R3年度の 成果測定指標	単位	R3年度の 目標値
廃止		

〔2〕

●変更前

R2年度の 成果測定指標	単位	R2年度の 目標値
土地区画整理事業実施地区の準備組合新規立上げ数	地区	1

●変更後

R3年度の 成果測定指標	単位	R3年度の 目標値
廃止		

成果測定指標の
変更（廃止）を
希望する理由

中期経営計画の改定

※計画における指標変更の理由

危険密集解消には「まちの防災性の向上」が重要。各市は整備アクションプログラムに老朽建築物除却の計画事業量（R3～7年度）を設定。市の計画事業量達成を支えるため、R3年度からの経営目標指標を「老朽建築物除却への支援件数」とするもの

成果測定指標の
変更（廃止）を
希望する理由

中期経営計画の改定

※計画における指標変更の理由

センターの支援は、準備組合設立前のまちづくり検討、準備組合の運営、本組合設立後の運営から換地設計、工事積算等と多岐・広範に渡るため、こうした支援全体の件数を目標に設定したもの

■ 成果測定指標変更（廃止）希望の理由について

〔3〕

●変更前

R2年度の 成果測定指標	単位	R2年度の 目標値
点検橋梁数	橋	300

●変更後

R3年度の 成果測定指標	単位	R3年度の 目標値
廃止		

成果測定指標の
変更（廃止）を
希望する理由

中期経営計画の改定

※計画における指標変更の理由

橋梁点検は、5年に一度と決められているため、センターの受注努力によらず、年度により点検する橋梁の数が大きく変動してしまうことから、センターの受注努力が反映される技術支援団体数を目標に設定したものの

〔4〕

●変更前

R2年度の 成果測定指標	単位	R2年度の 目標値
建設発生土の搬入実績	万t	35

●変更後

R3年度の 成果測定指標	単位	R3年度の 目標値
廃止		

成果測定指標の
変更（廃止）を
希望する理由

中期経営計画の改定

※計画における指標変更の理由

建設発生土の受入れは、府内公共工事の増減に影響を受け、センターの努力だけで伸ばすことは困難な面があった。本来の事業目的が府への造成地引渡しであることから、府への完成引き渡し面積を指標に設定したものの

■ 成果測定指標変更（廃止）希望の理由について

〔5〕

●変更前

R2年度の 成果測定指標	単位	R2年度の 目標値
大阪北摂霊園墓所の新 規貸付数	区画	50

●変更後

R3年度の 成果測定指標	単位	R3年度の 目標値
廃止		

成果測定指標の
変更（廃止）を
希望する理由

中期経営計画の改定

※計画における指標変更の理由

貸付墓所については、「一般墓所(永代、期間限定)」に加え、利用者ニーズに即して整備した「樹木葬墓地」「合葬式墓地」があり、今回目標設定においては、より魅力ある霊園づくりを進める観点から「樹木葬墓地」「合葬式墓地」の貸付数を取り上げることとしたも

〔6〕

●変更前

R2年度の 成果測定指標	単位	R2年度の 目標値
大阪北摂霊園 セミナー・説明会参加者数	人	-

●変更後

R3年度の 成果測定指標	単位	R3年度の 目標値
廃止		

成果測定指標の
変更（廃止）を
希望する理由

中期経営計画の改定

※計画における指標変更の理由

コロナ禍の影響が続く中、人を集めて対面で行うPRの実施が困難になる場合が見込まれることから、新聞広告等に加え、SNSなどを使ったPR展開を進めることとしたため

■ 成果測定指標変更（廃止）希望の理由について

〔7〕

●変更前

R2年度の 成果測定指標	単位	R2年度の 目標値
大阪北摂霊園管理料未 収入金	百万円	26

●変更後

R3年度の 成果測定指標	単位	R3年度の 目標値
廃止		

成果測定指標の
変更（廃止）を
希望する理由

中期経営計画の改定

※計画における指標変更の理由

未収入金処理については、R3年度以降、金額的目標達成を単に目指すのではなく、長期滞納者対策を強化することとしており、墓所の使用権取り消しや訴訟対応を含めた対応策の検討と実施を図ることとしたため

〔8〕

●変更前

R2年度の 成果測定指標	単位	R2年度の 目標値
大阪北摂霊園管理料未 納者への訪問督促件数	件	100

●変更後

R3年度の 成果測定指標	単位	R3年度の 目標値
廃止		

成果測定指標の
変更（廃止）を
希望する理由

中期経営計画の改定

※計画における指標変更の理由

コロナ禍の影響が続く中、対面での訪問督促に代え、電話督促に注力することとしたため

■ 成果測定指標変更（廃止）希望の理由について

〔9〕

●変更前

R2年度の 成果測定指標	単位	R2年度の 目標値
駐車場運営事業の経常利益率（経常利益/経常収益）	%	12.4

●変更後

R3年度の 成果測定指標	単位	R3年度の 目標値
廃止		

成果測定指標の変更（廃止）を希望する理由	<p style="text-align: center;">中期経営計画の改定</p> <p style="text-align: center;">※計画における指標変更の理由</p> <p>（ 駐車場用地は、府や市町村の公共用地を活用しているが、昨今公募案件の増加により、確保の見通しが立て難い状況となっていることから目標から除外したもの。 なお収益事業における収益確保は、財務基盤の安定を目指すものであるが、財務基盤の安定は、別途正味財産額の指標で図ることとしている。）</p>
----------------------	--

■ 令和2年度実績比 マイナス（現状維持）目標の考え方について

〔1〕

成果測定指標	単位	R2年度の実績値(見込値)	R3年度の目標値
阪南2区造成地の府への完成引き渡し面積	ha	5.1	5.1

マイナス (現状維持) 目標の考え方	・埋立免許において竣功期限が定められており、府への引き渡し面積はそれによって定まるため
--------------------------	---

〔2〕

成果測定指標	単位	R2年度の実績値(見込値)	R3年度の目標値
近隣センター業務の地元市引き渡し箇所数	箇所	2	2

マイナス (現状維持) 目標の考え方	計画的に地元市への引継ぎを行うこととしており、R3年度については堺市への残っている2か所の引継ぎを予定しているため同値の目標としたもの
--------------------------	---

■ 令和2年度実績比 マイナス（現状維持）目標の考え方について

〔3〕

成果測定指標	単位	R2年度の実績値(見込値)	R3年度の目標値
合葬墓の新規貸付件数	件	142	130

マイナス (現状維持) 目標の考え方	3年度新たに販売開始する樹木葬墓地「天の川」と特徴が重複する部分があり、その影響を加味したため
--------------------------	---

〔4〕

成果測定指標	単位	R2年度の実績値(見込値)	R3年度の目標値
長期修繕工事等の件数	件	22	22

マイナス (現状維持) 目標の考え方	修繕は長期にわたるものであり、長期修繕計画に基づきつつ、施設設備の状況を踏まえ、直実に実施していくことが必要。施設設備の劣化等の状況を踏まえ、R3年度工事を精査した結果、前年度と同数の工事件数となったもの
--------------------------	--

■ 令和2年度実績比 マイナス（現状維持）目標の考え方について

〔5〕

成果測定指標	単位	R2年度の実績値(見込値)	R3年度の目標値
まちづくり初動期活動に対する助成件数	件	12	12

<p>マイナス (現状維持) 目標の考え方</p>	<p>これまでの地域におけるまちづくり活動の状況並びに助成実績を勘案してR2年度同数としたもの</p>
--	---

〔6〕

成果測定指標	単位	R2年度の実績値(見込値)	R3年度の目標値
公益目的事業に資する正味財産の維持 (R2年度決算額の維持)	百万円	(〔32,436〕)	32,436

<p>マイナス (現状維持) 目標の考え方</p>	<p>通常予算執行に伴い、入札差金等の発生から事業額が減額され、正味財産へのマイナスの影響額も減るが、現時点でその影響額を見込むことができないため、R2実績額（見込）と同額としたもの</p>
--	---

■ 令和2年度実績比 マイナス（現状維持）目標の考え方について

〔7〕

成果測定指標	単位	R2年度の実績値(見込値)	R3年度の目標値
管理経費（法人管理部門）の抑制（R2年度決算額の維持・削減）	千円	（〔201,920〕）	202,800

マイナス （現状維持） 目標の考え方	・R3年度から法人の企画調整、内部統制機能強化のため、企画担当を設置したことにより、人件費が増加したもの
--------------------------	--

〔8〕

成果測定指標	単位	R2年度の実績値(見込値)	R3年度の目標値
不動産賃貸事業（土地貸付）における収益確保	百万円	518	518

マイナス （現状維持） 目標の考え方	契約金額に基づくもので、当面変更予定がないため
--------------------------	-------------------------